

やつが来たのは確か去年の梅雨。来ていきなりトイレの壁を壊し始めた。寮生数人がそれを止め、問いただした。「何やってんだよ！何でこんな事すんだよ！」するとやつも怒り出した「〇×●fuckin'◎○△ペラペーラ！！」。とにかく出て行けと伝えると、いなくなった。数十分後、色んなものをどこからか拾ってきて寮の裏の駐車場に自分の寝床を作っていた。「なんやねんこいつ！」その場にいたカルメンを除く全員がそう思ったであろう。関西弁ではなかったかもしれないが。

僕は英語が話せたので、その後一人で話に行ってみた。話している途中、雨が降ってきた。とりあえず場所を食堂に移した。どうやらスペインから来たバックパッカー（旅行者）らしい。3年程前に吉田寮に泊まったことがあって、その時とても吉田寮が好きになっただろう。でも今回来てみたら、あまりのトイレの臭さにショックを受けて（いや、笑い事じゃなくて、昔に比べて寮生が寮の手入れをしなくなったって事）何とかしないと！と思い、トイレの壁を抜いて通気を良くしようとした、との事だった。当時は一ヶ月ぐらい小便器が壊れていて、その時は確かに臭かった。

また、壁のつたをはがさない！！とも、寮の木が弱っている！！とも言っていた。僕はドキッとした。確かに色んなところで壁にはつたが這っていたし、木も全く手入れされていなかった。寮内には至る所にゴミが溜まっていて、蛍光灯も切れっぱなし。寮の雰囲気は確かに悪くなっていた。

しかしおかしい。だって他の人が住んでいる家の雰囲気が悪くなった事を嘆いたとしても、何の相談も無くいきなり人んちのトイレの壁を壊してもいいのか！？話せよ。ちゃんと言えよ。英語分かる人ぐらいいるから。お前の言ってることは間違っただけだから。そう伝えた。

やつは納得したようだった。しかしやつは明日出て行くといっているのに出て行かなかったり、考えている事（トイレ壊した理由など）を文章にするといったのにしてこなかったり、色々約束を守らなかった。結局やつは2、3週間ほど居座り続け、いつの間にかインドに旅立って行った。

あいつは基本的にむっちゃ自己中心的でひどいやつ。でもたまに正しいことも言う。それに気付かされることもある。変なやつでも、とりあえず話して、何を考えているのかを聞くのは中々に面白いことだと思う。いろんな人が来て、いろんな人が交差する吉田寮の楽しみ方の一つだと思う。

寮に住んでいるからといって、寮生が必ずしも正しいとはいえない。←ここ大事

かといって、誰が何をしてもいい場所ではない。

吉田寮は様々な人と人の関係性と、他人に対するリスペクト（相手の話を聞こうとし、相手を理解しようとする事）の上に絶妙なバランスで成り立っている空間である。